



2024/6/12

Communiqué no1-1

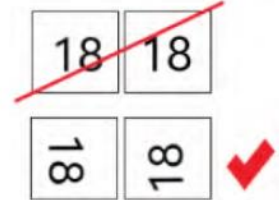
競技系

出走者の確認と変更

- 大会当日の朝の受付で行われる出走者確認は最終的なものである
- ただし、レースドクターが作成した診断書がレース開始前に受付に提出された場合はこの限りではない。

競技

- ライダーは、ゼッケンが常に見やすく、読みやすいようにしなければならない。ゼッケンはしっかりと固定されなければならない、折り曲げたり、加工したりしてはならない。ライダーはゼッケンを2枚つけなければならない。ゼッケンは背中の低い位置で左右に付け、インフィールドや観客から見えるようにすること。すべての競技（200mタイムトライアルを含む）において、ゼッケンはウェアの外側につけること。



- トランスポンダーは使用しない。
- バイクチェックは、コースイン前のバイクチェックエリアで行う。選手はスタート前の十分な時間にバイクチェックを受けなければならない。また、チェックは各セッション開始の15分前にも行われる。チームは、いかなる競技においても、使用する可能性のある交換用機材の適格性を確認する責任がある。コミッセルは、レース後に順位を再確認する権利がある。規定に反して自転車やポジションが変更された場合、その選手は失格となることがある。
- データ、情報、画像を収集または送信する機能を持ち、かつそれを目的とする技術装備の搭載は許可されている。使用条件は第1.3.024項および第2.3.024項に規定されている。以下を含む： 自転車の認証に影響を与えないこと（改造）／レース中に取り外せないこと／ライダーから見えない情報であること。
- マススタート競技では、選手はホームストレートからコースに入り、バックストレートからのみコースから出るものとする。200mタイムトライアルは、スタートする側からコースインする。すべての競技において、すべての選手（優勝者を含む）はバックストレートからコースを出なければならない。

競技中のチームスタッフ

- 第3.1.012条に従い、すべてのトラック競技中、すべてのチームスタッフはインフィールド（セーフティゾーンおよびコース外にいること）に留まるものとする。特定のチームスタッフは、コミッセルの判断によりセーフティゾーン（クラッシュ後のメカニックなど）への立ち入りを許可される場合がある。上記にかかわらず、第3.6.072条が適用される。
- コースへのアクセスランプは常にクリアに保たれていなければならない。すべてのコースアクセス用スロープには、いかなる資材やチーム関係者も立ち入ってはならない。
- スターターズ・プラットフォームへの立ち入りはオフィシャルのみとする。それ以外の者はこのポディウムを使用してはならない。
- 表彰台への立ち入りは、公式セレモニー以外は禁止する。

表彰式

- 表彰式に参加するライダーは、表彰式の10分前に表彰式場に姿を見せなければならない。また、公式セレモニー会場を出るまでは、脱帽で、ヘッドバンドやサングラスを着用せず、競技中の衣服と適切な靴を履いていなければならない。

全般的事項

- レース主催者またはコミッセルの指示に従わない場合は、5000円の罰金が科せられる。
- コース上およびセーフティゾーンを走行する際、選手は常に承認された硬質で安全なヘルメットの着用が義務付けられている。
- 選手はトラック走行中にヘッドホンを着用してはならない。
- セーフティゾーンを含め、コース上ではロードバイクの走行は禁止されている。
- セーフティゾーンに自転車等を放置することはできない。
- セーフティゾーンでの飲み物、食べ物の持ち込みは禁止する。
- 選手はトラック路面に座ることはできない。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



2024/6/12

Communiqué no1-2

基本的事項

- 大会要項記載の大会特別規則をよく確認すること

ニュートラリゼーション

- 特別な規定がない限り、マディソンを含むバンチ競技において、選手またはチーム（マディソンの場合は両名）に認められる事故が発生した場合、その選手またはチームは、その事故が発生した時点から事故前の位置に復帰するまでの1250mに最も近い周回数（250mトラックなので5周）の間、ニュートラリゼーションを受ける権利を有する。

スタンディングスタート競技

- 各ヒートで2名の選手が走行する。

[再発送]

- スタンディングスタート競技の各ラウンドにおいて、1チームまたは1選手に許されるスタート回数は2回までである。再スタートは、不正スタート、または認められた事故の場合にのみ与えられる。

スプリントと200mタイムトライアル

- 選手は200mのタイムトライアル中、2枚のゼッケンを着用しなければならない。
- 200mのスタートでライダーをプッシュする際、コーチは**セーフティーゾーン**に留まり、プッシュしながら**パーシュートライン**を超えてはならない。この指示に従わない場合、コミッセルの指示に従わなかったとして罰金が科せられる。

タンデム・スプリント

[予選]

- 予選は、フライング・スタートによる1周を計時する。
- 助走と計時周回を含む走行距離は**3.5周**とする。
- スタートでライダーをプッシュする際、コース全幅にわたってのプッシュを認める

[決勝]

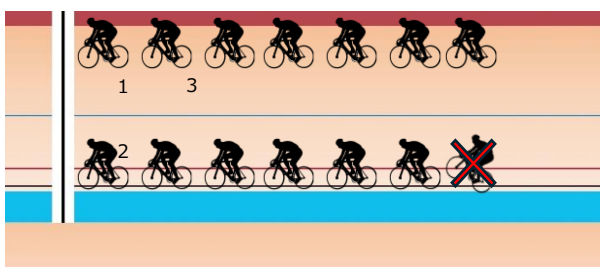
- スタートは、ホーム・ストレッチの中央線からである。
- 競技は**3周回**の距離で行う。

バンチレース

- スタート時、ホルダーはライダーをプッシュすることができるが、スタート時のクラッシュを避けるため、プッシュ中にその位置から**走る**ことは許されない。

- スタート時、ブルーバンド側の選手は走路に平行に立ち、ホルダーは真横に立つ。

スタート時の整列



 この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。
<https://www.jka-cycle.jp/>

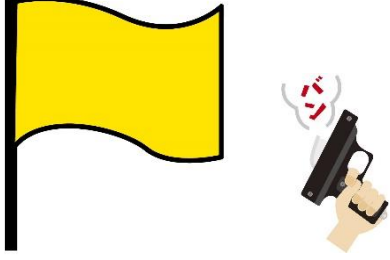

 PEARL IZUMI

 IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

 NANO CARBON BIKE
WIAWIS

 JPF
Jump for Positive Future

- コミッセルは、レース全体をニュートラルもしくは中断することがある。その場合はそれぞれ以下の方法などで示す。

ニュートラル	中断
	

- レースが行われている間、チーム代表者はコミッセルの決定に対して異議申し立てはできない。

マディソン

- 本マディソンレースでは補給は禁止されている。
- 第 2 グループの選手は、反対側の外側のフェンスに並ぶこと